

一歩

新潟市立大形中学校
3学年だより No.5
平成31年4月10日発行
文責:立川 宏

ルール

昨日、全校朝会がありました。そこで生徒指導担当の島田先生から学校生活に関する話がありました。以下、島田先生の話を中心に、3年生のみなさんに向けて書きます。



学校にはルール・規則がありますが、「なぜルールが必要なのか」と問いかけがありました。大形中学校の生徒のみなさんは、学校のルールや社会のルールを守って生活しています。島田先生は二人以上の人間がいれば、それが社会となります。一人ひとり顔が異なるように違いがあり、まったく同じ考えであるということはないと説明してくれました。つまり、違う考えや行動する二人以上の集団社会の中でルールという基準があることで、お互いが円滑な生活を送れるのです。

学校はある種「修行」の場であることも話してくれました。修行というと厳しい表現かもしれませんが3年生のみなさんにはその意味は理解できることでしょうか。やりたくもない勉強を学校に来てやることも人によっては非常に大きな負担になっているかもしれません。でも小・中学生は義務教育として学校に登校して勉強します。中学校卒業後も100%近い人が自らの意志で高校進学します。最初は、やらされている勉強かもしれませんが、学校に行き、その中で勉強する必要性や意味を考え、学校に行くことや勉強することを理解し受け入れている人も多くなっていることでしょうか。学校生活にはルールがあります。学校生活に必要なということで学習用具や部活動に必要な物は「不要物」として持ってきてはいけません。また、時間も自分の勉強したい時間に勉強するのではなく、授業開始時間や終了時間が決まっており、その時間で活動しています。



朝は「8:20 までに登校する」というルールで大形中学校は行っていますが、今年度から「チャイムが鳴るまでに校舎に入る」という解釈になります。昨年度まではチャイムが鳴っているときに駆け込んでギリギリセーフということでしたが、「授業はチャイムが鳴ったと同時に開始する」としていたものと考え方も統一されました。ぎりぎりの行動ではなく、先の予定を把握して時間を確認して行動することが今まで以上に求められます。最初は違和感があるかもしれませんが、しかし、「チャイムと同時に」ができることは、同じ「時間を守る」という行動でも「チャイムが鳴り終わるまで」よりレベルがワンランク上がった行動ができることになります。みんなでこれができるようがんばりましょう。

「人間関係」についても話をいただきました。顔が隣や周りの人と違うように、そのとき感じていることも一人ひとり違い、自分の近くで泣いている人がいるかもしれません。そのようなときは、ぜひとも声をかけてあげましょう。それが同じところで生活する「責任」です、と言いました。「責任」という言葉を優しさや思いやりと置き換えるとわかりやすいかもしれません。誰一人として同じ人はいません。違う考えや思いや気持ちに対して、理解しようとしてあげる、それが同じところで生活をするうえで大切なのです。

新入生歓迎会

昨日の午後、新入生歓迎会が生徒会主催で行われました。生徒会本部はもちろん、専門委員長なども今日のために準備やリハーサルをしてきました。

新入生歓迎会は、とても素晴らしい出来でした。しかし、取り組んだ人たちの中には、もっと改善できる部分に気づいている人もいるかもしれません。やってみるとうまく進まないところやつまづくところが出てくるときもあります。新入生歓迎会という同じ行事を行うことはないと思います。成功体験に限らず、失敗やつまづきの体験も、みなさんを大きく成長させてくれます。やってみなければ気づきもないことはたくさんあります。活動をやらなくてラッキーと思っていた人も、「経験があなたを成長させる」ことに目を向け、これからのさまざまな活動に積極的にチャレンジしてほしいと思います。



発育測定

明日の3・4限に発育測定があります。3年生は、

「発育測定(身長・体重)→聴力→視力」の順

に測定・検査をします。

準備としては

- ①長袖体育着・半袖体育着・ハーフパンツの準備
- ②メガネ・コンタクトレンズ(メガネ・コンタクト使用者は、使用時の視力を測定)
- ③身体・頭髮・爪・靴下の清潔

です。中3のみなさんは、①から③の準備はすべて自分でできますね。

